こんぜー新聞

'15.1.No211
発行 市岡明快
発行 0883-88-5292

新謹賀年

新しい年のスタートです。十二月は例年になく雪の日が多くて、全国的に三好市が有名なことになってしまいました。自然災害は、おもいもしない場所で起こるものですが、田舎と言われる地域は、ニュース程"大変"ではありません。不便な所は、常日頃から自分なりの対策をしているものです。

新年といえば、今年の○○はなんて話がよくあります。夢は「一、富士、二、×、三、○○」なんて昔から言われますが、「こんな夢をみたけど、実現出来ればいいもんだなあ。」

田舎は、災害に強いとおもいます。そのうえ、水と空気がうまい！そして、年々人口が少なくなり空家が増えている。そこで、東祖谷は、老後を迎えるには一番だという地域にくらそう……という事で家を準備します。住む所はOK。でも生活が今と心配する人の為に、生活サポートセンターがあります。飲み水の管理、草刈り、こまかい日常的なトラブルなんでもおまかせ・持論、買い物、病院の送迎も出来ますよ。

こんな夢……みたけど

家には、畑も持論ついてます。力仕事もまかせてください。「病院が遠いと心配」という人が少なくないけど、東西祖谷には廃校が何校もあります。この内一ヶ所を病院にします。その病院は、入院だってすぐ能だし、在宅診療も実施し、その中には昔この様な交流をするスペースもあります。緩和ケアもあり、日々退院しなくてもこの病院は、地域の人達でサポートする安心と治療してもらえます。病院として、住民が参加して経営して行くことになります。

その上、眺めがよく景色の良い墓地公園もあります。

土地がタダみたいな所ですから、お墓にお金がかかりません。管理運営を地域でやり、永代供養にも心配がいりませんよ。

そして、一緒にくらしていけペットも、同じ公園内で眠ることが出来たりするのですから、本当にすばらしい所、東祖谷なんです。

なにくろ、土地はあります。空家もあります。廃校でって4校もありほとんど活用していないんです。ただ、誰でも東祖谷で老後をすごせるかと言えば、そうではありません。自然を愛せる人、自然が好きな人、ちょっと位不便でも平気な人、自分で出来ることは自分でまずやる人、山が好きな人、地域の人々と交流が出来る人などが条件となります。

それは、東祖谷経営会議が決めて、運営することになり、住民一人一人が参加する必要があります。

一人で暮らすのが心配な人には、共同住宅ってあります。

なにくろ、誰かが言っていた「桃源郷」の祖谷なんです。お金をかせぐ桃源郷ではなく、生活していて幸せ感を実感できる桃源郷の東祖谷なんです。

これで、私のこれからも楽しも人だ。

と考えて所で夢からさめました。

しばらく、夢の世界の中……。

現実は、ちょっときびしいけど、どれか一つでも実行出来れば夢に近ずける。

それは、二十年前、祖谷にUターンした時に、もう、この土地に骨をうめようと、なんとなく、そう考えたことに繋がることにもなってくる。

上から言われなければ地域創生が出来ないなんて、どこかがおかしいでしょう。

金だけ使って、そこで住んでる人の心はすさんでいく地域創生なんてまっぴらです。

さて、また、いい夢でも見ないも人で、もう一回眠るとしよう。

寒いと不一コタツの中に入るとすぐ眠くなる人ですよ。

ではでは夢の中へ。